

小委員会の調査報告書

教科名	外国語	委員長名	工藤 真
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を6月13日(火)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、外国語小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 6月14日(水)から7月11日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月12日(水)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書出版、啓林館の6者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・配列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>		
調査研究に当たっての配慮事項	<p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>		
少數意見その他			

様式 2

教科名		外国語				
取扱内容、内容の構成・排列	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	東京書籍	New HORIZON	509 510	開隆堂	Junior Sunshine	511 512
○学習指導要領に示された目標に則り、「世界へつながるトピラを開こう！」をテーマに、①英語が好きになる②英語で伝え合う力を身に付ける③児童・教師の学びに寄り添うことを方針に編集されている。	○学習指導要領に示された目標に則り、①自他を大切にする心を育む②豊かな人間性を築く③主体的に学習する意欲を高めることを主眼に編集されている。					
○5年生では身近な題材、6年生では「世界」を扱った内容となり、身近な視野から世界的な視野へと発達段階的にスムーズに移行できる内容となっている。	○5年生では単語の言い方を中心とした内容、6年生ではより伝え合うことを意識した表現を中心とした内容となっている。					
○5年生の聞く・話す活動から、6年生の読む・書くの活動に発展的に学習できるように工夫されている。	○「聞く」「話す」活動は、各ユニット内で何回も繰り返され、各技能でバランスよく触れる機会が持てるよう構成されている。					
○学習した語彙や表現を繰り返し行えるよう、チャシツやペア・グループで話す活動など自然な流れで構成されている。	○「読む」活動は、会話の部分が太字で示されるなど、読みやすい工夫がなされている。					
○1時間1ページを基本とし、見開き4パートの構成となっているため、見通しがもちやすい。	○特にコミュニケーションを図る場面や状況が設定されており、ペア・ワークやグループ・ワークが多く、協働して自分の考えを深めたり広げたりすることができるよう工夫されている。					
○単元導入時に示された3観点と展開・まとめの振り返りが連動していて評価しやすくなっている。	○各ユニットの冒頭に、単元の GOAL、目標、めあてが示されており、見通しをもって活動しやすいように工夫されている。					
○配色を工夫し、色の区別をしやすく学習しやすい紙面になるよう配慮されている。	○今日的な課題を題材として取り入れ、理解を深めたり、意識を高めたりすることへつながっている。(SDG's等)					
○学習内容が比較的易しく、各ページ内での情報量もまとまっていて、学習者の視点の移動が少なくなるよう特別支援教育に対しての配慮も見られる。	○巻末に「Can Do リスト」があり、学習者が自分の達成度を自己評価しやすい工夫がなされている。					
○社会の多様性を踏まえたイラストや表現活動に配慮されている。 ①伝統文化：外国出身者の目線から日本の伝統文化の良さを紹介する内容が含まれている。 ②人権、国際理解、多様性：世界の様々な国の人物や題材を取り上げ、言語や文化に対する理解を深めることができるようになっている。 ③郷土教育：自分の住む町の好きな施設などを伝える活動などを設定している。	○QR コードが付いており、自主学習や家庭学習での活用が可能である。 ○UD フォントが採用されており、どの学習者に対しても見やすくなるよう工夫されている。					
○別冊「Picture Dictionary」はとても工夫されており、学習での活用の幅が広がる教材である。 (2年間通じて使う) ○デジタル教科書については、特別支援の児童に対応した、総ルビ機能、グレースケール機能、明るさ・コントラスト調整機能などが搭載されている。	○別冊「Word Book」は、教科書の内容に則したジャンル毎になっており、学習内での活用がしやすく工夫されている。 (便宜上5年用、6年用と分かれているが、6年生用はほぼ5年生用と同内容の教材である。一部追加がある。) ○デジタル教科書については、「アクセセンシビリティ」というボタンがあり、ふりがなの表記や白黒反転がワンクリックでできるようになっており、様々な学習者のニーズに対応した機能を持たせている。					

樣式 2

教科名	外国語					
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
取扱内容・内容の構成・排列	三省堂	CROWN Jr.	513 514	教育出版	ONE WORLD Smiles	515 615
○学習指導要領に示された目標に則り、「楽しい学び 豊かな心 確かな力」をテーマに、①学びに向かう力を育てる②ことばを使う力を育てる③考える力を育てる④他とかかわろうとする心を育てるを基本方針に編集されている。 ○1ユニットが複数単元で構成されており、ユニットの最初で、段階的な目標が事前に提示されている。緩やかに目標に向かってステップアップしていくことができるよう構成されている。 ○1時間の授業が音声から文字へ、練習からコミュニケーションへと、スムーズに流れるように配列されている。1時間1ページで構成されている。 ○各ユニットの最後に「まとめ」が準備されており、何を学習したかが、分かりやすくなっている。	○学習指導要領に示された目標に則り、①英語を楽しく学ぶ②英語で伝え合い、笑顔になる③デジタルコンテンツで英語の学びを支えるを基本方針に編集されている。 ○「自分の街」や「将来の夢」など身近な題材を中心に「聞く」「話す」の活動を中心に行なっており、イラスト等を多用し児童の想像力を大切にしている。 ○音声や文字については、各ユニットで少しづつ段階的に学ぶ形が取られている。 ○「聞くこと」を通じたインプットから始め、単元末に「話すこと（やり取りや発表）」へのアウトプットへと展開する構成となっている。 ○1単位時間の内容量が詰め込みすぎておらず、ゆとりをもった授業展開ができるようになっている。 ○巻末にシールやワークシートが用意されており、楽しく学ぶ工夫がなされている。 ○単元の始めにGOALを示し、単元末で自己評価ができる構成となっており、目的の明確化がしやすい。					
使用上の配慮等	○他教材との関連：社会科、理科、算数科などに関連する題材や、歌の活動を配置して他教科との関連を持たせている。 ○5年生では道案内の表現とプログラミングを結びつけるなど、教科横断的な視点を取り入れた学習ができるよう配慮されている。 ○巻末に「Can Do リスト」があり、学習者が自分の達成度を自己評価しやすい工夫がなされている。	○学習内容が比較的易しく、各ページ内での情報量もまとまっていて、学習者の視点の移動が少なくなるよう特別支援教育に対しての配慮も見られる。 ○社会の多様性を踏まえたイラストや表現活動に配慮されている。 ①人権教育：人権を尊重し、あらゆる差別をなくし、ジェンダー平等についても理解が深められるような配慮がされている。 ②SDGs：現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和など様々な問題について、意識を高められるように工夫されている。				
その他	○別冊「My Dictionary」はとても工夫されており、学習での活用の幅が広がる教材である。 (2年間通じて使う) ○デジタル教科書については、特別支援の児童に対応した、総ルビ機能、グレースケール機能、明るさ・コントラスト調整機能などが搭載されている。また、QRコードとの連動により音声学習だけでなく、ワークシートの配信等が工夫されている。	○デジタル教科書については、「アクセセンシビリティ」というボタンがあり、ふりがなの表記や白黒反転がワンクリックでできるようになっており、様々な学習者のニーズに対応した機能を持たせている。				

様式 2

教科名		外国語					
取扱内容、内容の構成・排列	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号	
	光村図書	Here We Go!	516 616	啓林館	Blue Sky Elementary	517 617	
○学習指導要領に示された目標に則り、「互いの気持ちを伝え合う楽しさを知り、互いの違いを大切にできるように」をテーマに、①確かな英語の力を育む構成 ②互いの考え方や気持ちを伝え合う言語活動の充実③楽しく学び、視野が広がる豊かな教材ことを基本方針に編集されている。				○学習指導要領に示された目標に則り、①言葉を使うための知識がしっかりと身に付く教科書②考える力を育む教科書③多様な文化や考えを理解し、他者に配慮する心を育む教科書を基本方針に編集されている。			
○5年生での音声中心の学習を経て、6年生での「読む」「書く」の活動へと移行しているため、児童の発達段階を意識したバランスのよい構成となっている。				○「聞く」活動が多いが、各ユニット毎にActivityを設け、「話す」活動のバランスも考え構成されている。			
○各 lesson が同じよう流れで進められるため、児童が次に何をするのか見通しをもちやすい単元構成になっている。単元内では同じような活動を繰り返しながら少しづつ発展させた内容となっている。				○コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて、思考・判断・表現があとからが養えるよう言語活動の工夫がなされている。			
○聞く活動からペアやグループで話す活動へつながる構成となっている。また、ペアやグループでの活動が多く、「誰一人取り残さない」活動設定となっている。				○Let's Read and Write ではアルファベットに触れる機会が設けられ、文字の習得に対しては児童が困らないよう配慮、工夫されている。			
○alphabet time として、文字や音を学ぶページが設定されており、任意のタイミングで指導できるよう工夫されている。				○単元導入時に示された GOAL と STEP で学習することが明確になり、単元末の Look back (Can Do リストのようなもの) と合わせて、振り返りがしやすくなっている。			
○単元導入時に示されたGOALとSTEPで学習することが明確になり、単元末のCan Doリストと合わせて、振り返りがしやすくなっている。				○言語活動を補助するための定型的な表現集が巻末にまとめられており、活動の際に活用したり、参考としたりできるよう工夫されている。			
○発表のイメージができる動画をQRコードを介して視聴でき、自主学習にも対応している。				○各学年毎に2～3単元後にREWのコーナーが設けてあり、パフォーマンステストを意識したTryが設定されており、思考・判断・表現の評価がしやすいよう工夫されている。			
使用上の配慮等	○社会の多様性を踏まえたイラストや表現活動に配慮されている。 ①伝統文化：外国出身者の目線から日本の伝統文化の良さを紹介する内容が含まれている。 ②人権、国際理解、多様性：世界の様々な国の人や題材を取り上げ、言語や文化に対する理解を深めることができるようになっている。 ③郷土教育：自分の住む町の好きな施設などを伝える活動などを設定している。				○ヒント等がQRコードで示されており、より学習者の主体性を引き出すとともに、家庭学習での活用やオンラインでの活用など幅広く工夫した学習をすることができるよう配慮されている。		
	○卷末に「Can Do リスト」があり、学習者が自分の達成度を自己評価しやすい工夫がなされている。				○UD FONTが採用されており、誰でも見やすいように配慮されている。		
○各学年の卷末に「Picture Dictionary」があり、学習での活用の幅が広がるつくりとなっている。				○学習内容が比較的易しく、各ページ内の情報量もまとまっていて、学習者の視点の移動が少なくなるよう特別支援教育に対しての配慮も見られる。			
○デジタル教科書については、「アクセントシビリティ」というボタンがあり、ふりがなの表記や白黒反転がワンクリックでできるようになっており、様々な学習者のニーズに対応した機能を持たせている。				○「多様な文化や考え」という視点から、SDG's や人権に対する題材など画幅広く取り扱われている。			
○各学年の卷末に「Word List」があり、学習での活用の幅が広がるつくりとなっている。				○各学年の卷末に「Word List」があり、学習での活用の幅が広がるつくりとなっている。			
○デジタル教科書については、「アクセントシビリティ」というボタンがあり、ふりがなの表記や白黒反転がワンクリックでできるようになっており、様々な学習者のニーズに対応した機能を持たせている。				○デジタル教科書については、「アクセントシビリティ」というボタンがあり、ふりがなの表記や白黒反転がワンクリックでできるようになっており、様々な学習者のニーズに対応した機能を持たせている。			